

線状降水帯・ゲリラ豪雨時代のiPhone水没事故 Apple Storeでは「本体交換」しか選択肢がない実態、 大阪・心斎橋の独立系修理ブランド「スマートドクタープロ」が取り組む水没 基板修理とデータ救出

——ゲリラ豪雨・線状降水帯が増加するなか、基板修理を社内で完結し当日対応を可能にする同社が、来店・郵送・法人受付の3チャンネル運営体制を整備

近年、ゲリラ豪雨や線状降水帯による局地的な集中豪雨が増加するなか、外出中・通勤中の突発的な雨によるスマートフォン水没事故への対応のあり方が問われている。気象庁の統計では、ゲリラ豪雨の代表的指標である1時間50mm以上の短時間強雨は1976年から2024年までの48年間で約1.5倍に増加し、集中豪雨全体の発生頻度は過去45年で2倍以上に達した。一方、Apple Storeにおける水没iPhoneの修理対応は「本体交換」のみで、事前のバックアップがない場合、修理時にデータは失われる。さらに、独立系修理事業者の多くは水没基板修理を第三者業者に外注しており、修理完了までに数週間～数ヶ月を要するケースも少なくない。こうした状況下で、データ救出の成功率を左右する「対応スピード」が改めて重要視されている。総務省登録修理業者として17年の実績を持つ「スマートドクタープロ大阪心斎橋本店」(運営:株式会社クレア、代表取締役 古賀潤一郎)は、総務省が制定する「電波の日」である2026年6月1日、梅雨入り目前のタイミングで、基板修理を社内で完結し当日対応を実現する3チャンネル対応体制(来店・郵送・法人受付)の実態を明らかにした。

▼スマートドクタープロの水没・基板修理(即日データ救出)の詳細はこちら

<https://www.iphone-doctor.net/kiban/>



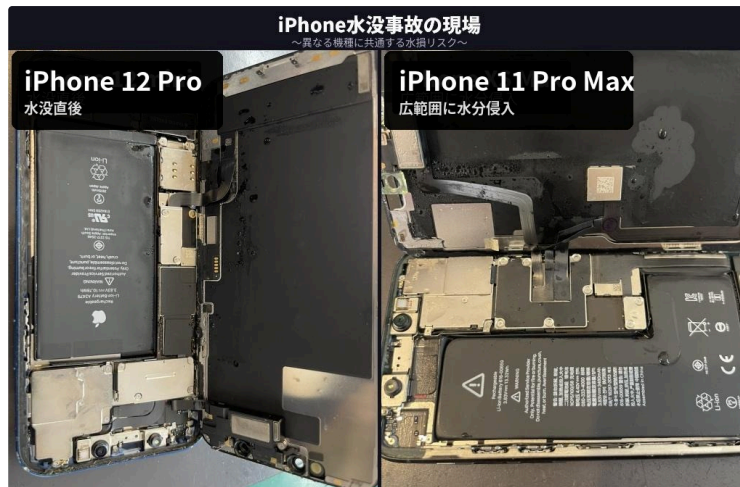
iPhone・iPadの水損から経年機種・顕微鏡レベルの基板修理まで、同社が対応する修理事例

1. ゲリラ豪雨・線状降水帯が増加 気象庁データが示す水没リスクの拡大

近年、突発的に局地で発生する「ゲリラ豪雨」(局地的大雨)や、同一地域で長時間にわたり強雨が続く「線状降水帯」によるスマートフォン水没事故が増加している。気象庁の統計によれば、1時間に50mm以上の短時間強雨(ゲ

ゲリラ豪雨の代表的な指標)の発生回数は、1976年から2024年までの48年間で約1.5倍に増加した。1時間に80mm以上の猛烈な雨に至っては、長期的に顕著な増加傾向を示している。

ゲリラ豪雨は予測が困難で、外出中・通勤中・買い物中に突然遭遇するケースが多い。傘を持たずに外出した際にずぶ濡れとなり、ポケットやバッグに入れていたスマートフォンが水没する事故が、毎年梅雨～夏期に集中して発生している。



気象庁気象研究所が2022年5月に発表した別の調査では、集中豪雨の発生頻度は過去45年間で2倍以上に増加し、特に7月の集中豪雨は約3.8倍に拡大していることが示されている。同研究所の分析では、2009年から2023年の15年間に日本で線状降水帯が計496回発生し、その83.8% (416回) が6月から9月の梅雨～台風シーズンに集中している。

気象庁の「日本の気候変動2025」報告書では、気温が1℃上昇するごとに大気中の水蒸気量が約7%増加することが示されており、気候変動に伴うゲリラ豪雨・線状降水帯の増加傾向は今後も継続すると予測される。

日本気象協会が2026年4月23日に発表した梅雨入り予想によれば、近畿地方の梅雨入りは平年(6月6日頃)並みか早い見込みとされており、6月以降のスマートフォン水没事故への備えが急務となっている。

2. 災害時・突発的な雨でスマートフォンが「命綱」となる現実

現代社会において、スマートフォンは単なる通信機器を超え、災害時には「命綱」としての役割を担う。災害情報の取得、家族・職場との連絡、安否確認アプリの利用、避難所情報の確認——こうした多面的な機能を持つ端末が水没によって使用不可能になることは、二次的な被害につながりかねない。

突発的なゲリラ豪雨に遭遇し、傘の準備が間に合わずに濡れたスマートフォンが故障するケースも多発している。外出先で突然の豪雨に襲われた際、まさに「連絡手段を失ってしまう」事態に直面する利用者は少なくない。

加えて、写真・連絡先・各種アプリのデータといった代替不能な情報も端末内に保存されているケースが多く、水没事故は単なる物的損害にとどまらない深刻なリスクを伴う。

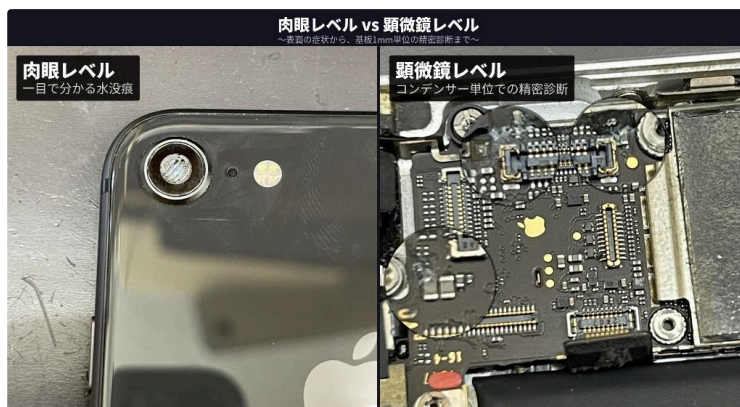
企業においては、業務用スマートフォンの被災対応は事業継続計画（BCP: Business Continuity Plan）の重要な要素として位置付けられている。能登半島地震以降、企業のBCP見直しの動きが活発化しており、業務用端末の早期復旧体制の整備は経営課題のひとつとなった。

3. Apple Storeでは「本体交換」のみ 事前バックアップがない場合データは失われる

Apple公式の修理規約によれば、iPhoneの液体による損傷はApple製品1年限定保証の対象外であり、Apple StoreおよびApple正規サービスプロバイダにおける水没対応は実質的に「本体交換」での対応となる。AppleCare+加入時の本体交換費用は12,900円（2026年5月時点）であるものの、本体交換時には事前のバックアップがない場合、旧端末内のデータが失われるという点に留意が必要だ。

AppleおよびApple正規サービスプロバイダではデータ救出サービスは提供されておらず、利用者は事前にバックアップを取得していることが前提となっている。AppleCare+未加入かつバックアップ未取得の状態でも水没事故に遭遇した場合、消費者には「データ損失とともに買い替える」以外の選択肢が事実上存在しない構造となっている。

4. 独立系修理事業者による「データ救出」という選択肢



一方、独立系修理事業者の中には、水没基板に対して「基板洗浄」「腐食除去」「部品交換」「基板修理」といった高難度の修理工程を提供する事業者がある。これにより、Apple Storeでは買い替え対応となる端末でも、データを保持したまま復旧できる可能性がある。

ただし、水没基板修理は顕微鏡作業や専用機材を要する高難度作業であり、すべての修理事業者が対応できるわけではない。基板修理の対応経験・技術力・品質管理体制の有無により、修理の成功率には大きな差が生じる。

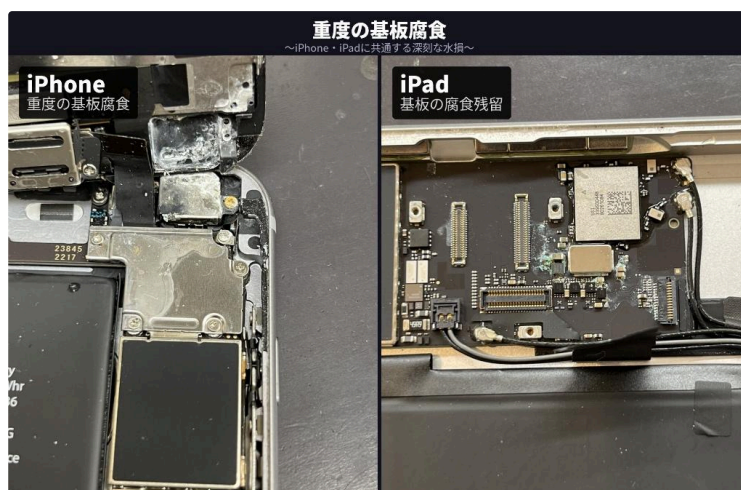
スマートドクタープロでは、修理品質管理試験設備として電波測定器「CMW500」（1台5,000～6,000万円規模）を保有し、**工程変更点における代表サンプルの電波特性を測定するプロセス品質管理**を継続的に実施している。同社が2026年5月13日に発表したCMW500による品質管理プロセスは、毎日新聞、MSNニュース、TRILL、livedoorなど多数の媒体で報じられた。

5. 水没修理における「対応期間」の課題 業界では数週間～数ヶ月かかるケースも



水没基板修理は高難度の修理であるため、業界では基板修理を第三者の専門業者に外注する対応も見られる。このため、利用者の手元から端末が離れてから診断・修理完了・返送まで通常2～4週間を要し、部品待ちや試験工程の往復が発生する場合には1～3ヶ月かかるケースも見られる。

しかし、水没事故への対応は時間との戦いでもある。基板の腐食は時間の経過とともに進行し、データ救出の成功率も低下していく。さらに、業務用デバイスの長期不在は企業の事業継続計画 (BCP) に直接影響し、訪日外国人観光客の場合は帰国前の対応が必要となる。



スマートドクタープロは、顕微鏡レベルの基板作業を含むすべての修理工程を社内で完結する体制 (基板修理サービス詳細: <https://www.iphone-doctor.net/kiban/>) を整備している。専用機材 (CMW500を含む) の保有と、基板修理に対応可能な熟練技術者の常駐により、来店時の当日対応・即日修理を可能としている。同社代表の古賀氏は次のように説明する。

「外注を挟むと『お預かりして数週間』が業界標準ですが、当社では当日中の対応を基本としています。腐食の進行を待つ時間は、データ救出の成功率にも、業務継続性にも直結します。社内完結の体制は、独立系の修理事業者として消費者・企業に提供できる最大の価値だと考えています」(古賀代表)

6. 3つの利用シーンと最適な対応チャンネル

水没事故への対応には、利用者の状況に応じた3つの選択肢がある。スマートドクタープロは、いずれの利用シーンにも対応する体制を整備している。

① 即日対応・データ救出を希望する利用者 —— 来店修理

水没直後の対応は時間との戦いであり、腐食の進行前の早期対応が修理成功率を大きく左右する。同社の大阪・心齋橋本店(来店修理の詳細:<https://www.iphone-doctor.net/shinsaibashi.html>)では、基板修理を含むすべての工程を社内で完結する体制により、来店時の当日対応・即日修理を実現している。9言語に対応しており、帰国前の対応が必要な訪日外国人観光客の事故にも対応可能で、年間約1,440件の訪日外国人観光客の修理に対応している。



② 遠方在住・来店困難な利用者 —— 郵送修理

全国対応の郵送修理サービス(受付ページ:https://www.iphone-doctor.net/post_repair/)を提供。水没端末の安全な梱包方法を含め、データを失わないための適切な配送・取り扱い手順を案内する。被災地・遠隔地への対応も可能となっている。

③ 企業の社用iPhone対応・災害時BCP対応 —— 法人受付

業務用スマートフォンの被災対応専用窓口(法人受付:<https://www.iphone-doctor.net/houjin-repair/>)として、機密保持契約(NDA)の締結、社内データ保護への配慮、社用機の一括対応、業種別対応(医療・教育・観光業等)を提供する。災害時の業務用スマホの早期復旧体制を支援する。



7. 水没修理事業者を選ぶ際のチェックポイント

水没基板修理は高難度の修理であり、すべての修理事業者が対応できるわけではない。同社の代表取締役・古賀潤一郎氏は、水没修理事業者を選ぶ際のチェックポイントとして次の5点を挙げている。

「総務省登録修理事業者であるかどうか、PSE準拠の部品を使用しているか、基板修理の対応経験を公開しているか、修理後の品質管理体制が整っているか、第三者評価（顧客評価、業界認証）が透明であるかどうか——消費者にはこの5点を必ず確認していただきたい」（古賀代表）

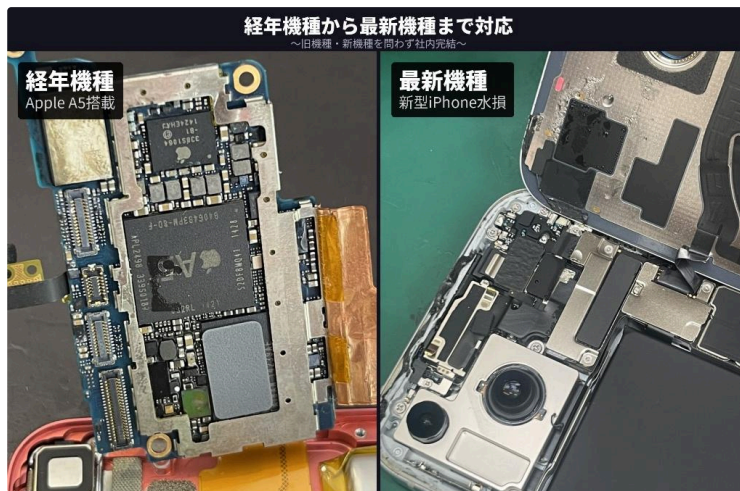


8. 基板修理という高難度サービス

水没による腐食・短絡の除去は、顕微鏡作業や専用機材を要する高度な技術領域である。同社では、コンデンサー単位の精密診断と修理を実施しており、Apple Storeでは対応困難な水没基板の復旧に取り組んでいる。



同社では工程の品質を担保するため、前述のCMW500 (電波測定器) による代表サンプルの電波特性測定を実施。プロセス品質管理試験として位置付け、修理品質を統計的に把握する独自の体制を構築している。



9. 同社の事業概要

スマートドクタープロ (公式サイト: <https://www.iphone-doctor.net/>) は、2009年に開始した独立系の修理ブランド。PSE準拠の修理事業として日本国内で先駆けて開業し、17年にわたり修理サービスを提供している。現在の運営会社である株式会社クリアは2011年9月設立、本社は大阪市中央区西心斎橋。

創業	2009年 (17年の修理実績)
運営会社	株式会社クリア (法人番号 8120001165987)
代表者	代表取締役 古賀 潤一郎
所在地	大阪市中央区西心斎橋1-8-9 商都ビル1F
認証	総務省登録修理業者 (電気通信事業法 T000002 / 電波法 R000002)、 ISO9001:2015認証 (認証範囲: スマートフォンパーツの輸入及び修理)

年間修理対応件数	約60,000件
顧客評価	5点満点中4.7(評価数431件・2026年5月時点)
多言語対応	9言語(訪日外国人観光客 年間約1,440件対応)
修理品質管理試験設備	電波測定器CMW500(1台5,000~6,000万円規模)

10. 今後の展望

同社は、気候変動に伴う水没事故の増加傾向を踏まえ、社内完結・当日対応の修理体制を維持しながら、梅雨～夏の修理キャパシティ強化、被災地・遠隔地への郵送修理対応の拡充、企業BCP対応の継続強化を進める方針を示している。

「水没事故は『買い替えるしかない』と諦められがちですが、独立系修理事業者の技術によりデータを救える可能性があることを、より多くの消費者・企業に知っていただきたい。腐食の進行を待たない『当日対応・社内完結』の体制を、気候変動時代の社会インフラとして提供し続けたい」(古賀代表)

関連URL

基板修理(水没・故障対応): <https://www.iphone-doctor.net/kiban/>
来店修理(大阪・心斎橋本店): <https://www.iphone-doctor.net/shinsaibashi.html>
郵送修理(全国対応): https://www.iphone-doctor.net/post_repair/
法人受付(企業の社用iPhone対応): <https://www.iphone-doctor.net/houjin-repair/>
公式サイト: <https://www.iphone-doctor.net/>

参考データ出典

- 気象庁気象研究所「アメダス3時間積算降水量でみた集中豪雨事例発生頻度の過去45年間の変化」(2022年5月)
- 気象庁「日本の気候変動2025」報告書
- 日本気象協会「2026年梅雨入り予想」(2026年4月23日発表)
- Apple公式「iPhoneやiPodの液体による損傷は保証対象外」

関連リリース

- 「iPhone修理後の電波特性『個体ごとに変動』——電波測定器CMW500による品質検証プロセスを公開」(2026年5月13日配信)
@Press: <https://www.atpress.ne.jp/news/596176>

【取材・お問い合わせ先】

株式会社クリア 広報担当: 古賀 潤一郎・石川
TEL: 06-6227-8324
Email: info@iphone-doctor.net
所在地: 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-8-9 商都ビル1F